

# 白山社会学会ニュースレター

発行/白山社会学会

事務局/〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20

東洋大学社会学部気付

凡例：(洋)は(東洋大学)の略

## 白山社会学フォーラム開催予定

「宗教と世代」をテーマとする1998年度白山社会学会フォーラムが1998年9月20日(日)、白山校舎図書館棟第1会議室(16階建物の3階)で開催されます。ふるって御参加下さい。

13:00-16:30

コーディネーター：西山茂氏(洋)

報告者：

1. 磯岡哲也氏(洋/非常勤講師)  
「中高生の宗教教育」
2. 武田道生氏(洋/非常勤講師)  
「新宗教と若者」
3. 梅津礼司氏 \*交渉中  
「ターミナルケアと宗教」
4. 井上治代氏 \*交渉中  
「死後の宗教と世代」

一部題目は仮題です。

## 白山社会学会大会・総会開催予定

第16回大会・総会は1998年12月12日(土)に白山、雨水会館にて開催予定です。プログラムの詳細は後日お知らせします。発表希望、企画提案がありましたらご連絡下さい。

## 白山社会学会大会 第15回大会開催

1997年の白山社会学会大会は12月13日(土)東洋大学白山校舎、雨水会館にて開かれた。従来行われた午前中の自由報告は今大会では行われず、午後1時半からシンポジウムが催された。シンポジウムのテーマ、発表者は以下の通り。

「社会学的発想法-課題・理論・方法-」  
司会：日高安比古氏(洋/工学部非常勤講師)

趣旨説明：細井洋子氏(洋/社会学部。本シンポのコーディネーター)

「<ミクロ-マクロ問題>と世界の超越」

張江洋直氏(武蔵大学、非常勤講師)

「社会科学と『理解』-解釈的社会科学から出発して」

角田幹夫氏

「社会調査論・再考-調査票調査における標準化と妥当性」

井出裕久(大正大学人間学部社会学科専任講師)

討論者

紀葉子氏(洋/社会学部)、宇都宮京子氏(洋/社会学部)、島崎哲彦氏(洋/社会学部)

シンポ終了後、総会、懇親会が行われた。

## 総会報告

総会に先立って竹内郁郎会長の挨拶、そして故磯村英一先生と小倉重男先生に黙祷が捧げられた。

【1】活動経過報告(平成8年12月~平成9年11月)  
平成8年(1996)

12月7日(土)第14回白山社会学会大会開催

平成9年(1997)

2月14日(金)運営委員会

- (1) 新役員・事務局員態勢、会員異動
- (2) 第3回関東地区社会学・社会福祉学修理論文発表会開催について

(3) 『白山社会学研究』第6号編集発行について

(4) 新年度活動予定について

3月11日(火)第3回関東地区社会学・社会福祉学修士論文発表会(詳細はニュースレターNo.16で報告済)

4月18日(金)運営委員会

- (1) 1997年度統一テーマ
- (2) ニュースレターと『白山社会学研究』について
- (3) 年間活動計画
- (4) 事務局体制

6月27日(金)運営委員会

- (1) 会員異動
- (2) 役員一覧表・会員名簿
- (3) 大会予定

(1) 白山社会学フォーラム開催について  
7月5日(土) 白山社会学フォーラム(詳細はニュース  
レターNo.16で報告済)

12月5日(金) 運営委員会

- (1) 『白山社会学研究』No.6の編集発行について
- (2) 第15回白山社会学学会大会について
- (3) 同大会での総会について
- (4) 第4回関東社会学・社会福祉学修士論文発表会を  
統括して開催する
- (5) 監事小倉重男先生逝去について
- (6) 役員・事務局体制について

学会会員数(平成9年10月30日現在)  
207人(昨年206人)

【2】会計報告(別紙参照)

【3】役員改選

監事に渡辺博史先生、会計に森田明美氏、事務局に  
寺田貴美代さんが就任。

会長 竹内郁郎

副会長 酒井俊二、山手茂

運営委員 穴田義孝、天野マキ、池田正敏、泉田渡、  
茨木竹二、大島尚、大坪省三、大橋綾子、奥田道大、  
佐藤豊道、清水浩昭、鈴木勁介、高橋直之、田中豊  
治、坪井健、中山伸樹、西山茂、芳賀正明、藤木三  
千人、細井洋子、宮良高弘、米林喜男

企画 天野マキ、西山茂、細井洋子、米林喜男

会計 森田明美、川池智子

監事 園田恭一、渡辺博史

顧問 岩井弘融、高橋統一、山下袈裟男

運営事務局員 松本誠(事務局員)、旭洋一郎(広  
報)、市川藤雄(広報)、川池智子(会計)、酒井  
出、城正子、寺田貴美代、仲俣、森田明美(総務・  
計)、山下興一郎、山本正司

編集委員長 大坪省三

編集委員 大島尚、酒井俊二、清水浩昭、渡辺博史

査読委員 池田正敏、奥田道大、佐藤豊道、鈴木勁介、  
高橋統一、藤木三千人、宮良高弘、山下袈裟男、山  
手茂、米林喜男

## 1998年修士論文発表会開催

白山社会学学会主催、第4回関東地区社会学・社会福  
祉学修士論文発表会が1998年3月10日(火)10時から  
17時まで、白山校舎、雨水会館4階会議室で行われ  
た。

プログラムは以下の通り。

第1セッション

司会: 森田明美氏(洋/社会学部助教授)

1. 宮寺 由佳氏(東京都立大学)「貧困地区における  
若年世帯の結婚・出産・育児」

2. 山口光治氏(淑徳大学)「在宅高齢者虐待に関する  
ソーシャルワークの方法と課題」

3. 田中 恵利氏(洋)「self-help organizationにお  
ける専門職の機能一親の会のソーシャルワーカーを事  
例として」

4. 終崎 京子氏(洋)「施設利用者の当事者参加に関  
する現状と課題」

5. 中尾 友紀氏(日本女子大学)「ジェンダーからみ  
た社会保障制度の問題点とその解決一公的年金制度を  
中心として」

第1セッション総評: 山手茂氏(洋/社会学部教授)

昼食会(12:45から14:00) ※同一会場内にて  
第2セッション

司会: 池谷のぞみ氏(洋/社会学部専任講師)

1. 木本 真澄氏(明治大学)「プライバシー相互理解  
に関する一考察」

2. 諸田 裕子氏(お茶の水女子大学)「『不妊問題』の  
社会的構築一マス・メディアに流通する『不妊問題』  
の語り」

3. 瀧口 樹良氏(駒沢大学)「『外圧』と日本の産業組  
織の変容一情報・通信分野を通して」

4. 戴 智嗣氏(洋)「現代中国における近代化政策の展  
開とマス・メディア構造の変容一『改革解放』後の一  
考察」

5. 土屋 葉氏(お茶の水女子大学)「全身性障害者の語  
る『家族』一主観的家族論の構築へむけて」

第2セッション総評: 広瀬英彦氏(洋/社会学部教授)

## 社会学博士学位取得者

1997年度の社会学博士学位取得者は次の方々です。

◆乙(論文博士)

社会学 宇佐美隆憲「草相模の存続と変化一東アジ  
アの事例を中心に」

社会学 細井洋子「女性犯罪の研究一ジェンダー犯  
罪学への試み」

社会福祉学 宮田和明「現代日本社会福祉政策論」

◆甲(課程博士)

社会福祉学 吉浦輪「集合住宅における高齢者ケアシ  
ステム一ある地域福祉調査からの接近」

社会福祉学 吉川かおり「社会福祉援助課題としての  
〈生活再建〉」

訃報

・廣畑一雄先生が肺腺腫のため、1998年2月12日に逝去された。同15日に密葬が行われた。1996年に退職されたばかりだった。

## 退職教員

・高橋統一先生（社会学科教授）

文学部社会学科時代の1957年から東洋大学の人類学教育に献身されて発展させてこられたが、定年を迎えられた。先生の古稀記念論文集として、清水浩昭・芳賀正明・松本誠一編『性と年齢の人類学』（岩田書院）が刊行された。そこに先生の略歴、業績目録が掲載されている。古稀祝賀会へのお返しとして先生が著された『家隠居と村隠居-隠居制と年齢階梯制』（岩田書院）には、先生以前の東洋大学の人類学史とも評える川辺寿利、米林富男、鈴木榮太郎、小山隆、関敬吾、瀬川清子、古野清人、馬淵東一の諸先生の思い出・功績を記された章もある。

・窪田暁子先生（社会福祉学科教授）

1989年から在職された。福祉行政のシステムに精通されており、大学院福祉社会システム専攻の開設に貢献された。スキーがお好きで、仲間を見つけて同行、楽しまれた。

・口比野正己先生（社会福祉学科教授）

1996年から、2年間の短い在職期間であったが、建築のご専門から「バリアフリー」を中心に、車椅子を教室に持ち込んで、使い方を実際に経験させたり、福祉歌留多を学生と共に作成したり、ユニークな教育法を示された。長崎純心大学に転任された。

## 新任教員

・末成道男先生（社会学科・教授、社会学博士）

専門分野は社会人類学。これまで現地長期滞在のフィールドワークを台湾、韓国、中国、ベトナムで実施されてこられました。新刊『ベトナムの祖先祭祀』（風響社）には年中行事のビデオや文書が納められたCD-ROMが附録に付けられています。前任校、東京大学東洋文化研究所。ご担当科目は人類学、社会学演習、大学院社会学専攻博士前期、後期課程演習・研究指導など。

・秋元美世先生（社会福祉学科・教授）

専門分野は社会福祉法制・行政。前任校は茨城大学。ご担当科目は社会福祉法制、社会福祉援助技術演習、社会福祉学演習、大学院福祉社会システム専攻修

士課程演習・研究指導など。

・稲沢公一先生（社会福祉学科・講師）

ご担当科目は社会福祉方法論、障害者福祉論、社会福祉学演習など。前任校は長野大学。本学社会福祉学専攻博士課程後期修了、社会学博士。

## 学内情報

・「大学氷河期」を前にして、2000年4月から社会学部は改組してそれを乗り切ろうとしています。改組は全学的な規模で行われますが、そのために新任教員が多数公募され始めています。インターネットで学術情報センターの公募情報を御覧下さい。社会学科などのある全国の大学等にも書類は送られていますので、優秀な方に東洋大学をお薦め下さい。

・社会学部長 西山茂 教授

社会学科主任 島田知二 教授

第2部社会学科主任 松本誠一 教授

応用社会学科主任 大島尚 教授

社会福祉学科主任 佐藤豊道 教授

マスコミ学専攻主任 島崎哲彦 助教授

社会心理学専攻主任 北村英哉 助教授

図書館学専攻主任 岩淵泰郎 教授

朝霞主任 芳賀正明 教授・戸田慎一 助教授

・大学院社会学研究科委員長 広瀬英彦 教授

社会学専攻主任 高橋直之 教授

社会福祉学専攻主任 園田恭一 教授

福祉社会システム専攻主任 大坪省三 教授

・三上俊治先生が1998年度の国内留学中。

・細井洋子先生が1998年度の長期海外出張中。前半はスウェーデン、後半はオーストラリアです。

・インターネットで東洋大学の情報が公開されています。

◎ホームページ・アドレス

東洋大学 <http://www.toyo.ac.jp>

社会学部 <http://www.soc.toyo.ac.jp>

## 学会雑報

・『白山社会学研究』大学生協に販売委託

東洋大学生協に『白山社会学研究』の販売を委託してありますので、ご活用下さい。店頭での注文、受け取り、送料なしの価格で、数日後に受け取れます。